

平成 25 年 10 月 22 日 (火)

平成 25 年第 3 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会

会 議 録

岸和田市貝塚市清掃施設組合

平成25年第3回岸和田市貝塚市
清掃施設組合議会定例会議事日程

〔平成25年10月22日（火）〕
午後1時30分 開 議

第1 会期決定について

第2 認定第1号 平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるに
ついて

出席議員（13名）

1番	石田	亀太郎	2番	稲田	悦治
3番	河合	馨	4番	来原	佳一
5番	鳥居	宏次	6番	中井	良介
8番	米田	貴志	9番	明石	輝久
10番	阪口	勇	11番	田中	学
12番	松波	謙太	13番	森	美佐子
14番	藪内	留治			

欠席議員（1名）

7番 山田 幸夫

出席議事説明員

管理者	野口	聖	副管理者	藤原	龍男
理事	出口	修司	理事	砂川	豊和
幹事	柿花	淑彦	幹事	田中	利雄
幹事	西岡	修	幹事	伊東	敬夫
幹事	坂井	永二	幹事	岸澤	慎一
幹事	頓花	隆	幹事	稲田	隆
会計管理者	青野	恵子			

出席事務局職員

事務局長	田中	一裕	事務局次長	山口	強
総務課長	樽谷	修一	管理課長	小南	和巳

午後 1 時52分開会

○議長（藪内留治君）

ただいまから平成25年第 3 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

まず、議員出席状況を総務課長から報告させます。

○総務課長（樽谷修一君）

議員出席状況についてご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は13名でございます。以上で報告を終わります。

○議長（藪内留治君）

ただいまの報告のとおり、出席議員13名をもちまして、会議は成立いたしておりますので、これより本日の会議を開きます。

○議長（藪内留治君）

次に、本日の会議録署名者を施設組合議会会議規則第101条の規定により、私から、6番 中井良介議員、8番 米田貴志議員を指名いたします。

○議長（藪内留治君）

次に、本定例会における議事説明員は、お手元にご配付しておりますとおりでありますので、報告いたします。

○議長（藪内留治君）

これより日程に入ります。

日程第 1、会期決定についてを議題いたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日の 1 日といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、1日に決定いたしました。

○議長（藪内留治君）

次に、平成25年 4 月分から 8 月分までの

5 カ月分の例月出納検査結果報告につきましては、さきに議員各位にご送付いたしておりますとおりであります。

本各件について質疑のある方は発言を願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

ないようですので、本報告を終わります。

○議長（藪内留治君）

次に、日程第 2、認定第 1 号平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めらるるについてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。管理者 野口 聖君。

○管理者（野口 聖君）

上程いたされました認定第 1 号平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めらるるにつきまして、提案理由をご説明申し上げます。

平成24年度一般会計の決算につきまして、地方自治法第233条第 2 項の規定により、監査委員の方々にその内容についてご審査をお願いいたしましたところ、慎重なご審査を賜り、このたび、審査意見をつけて議会の認定に付した次第であります。

平成24年度一般会計の歳入決算額は40億8,962万1,219円に對しまして、歳出決算額が38億9,876万5,939円でありましたので、歳入歳出差し引き額が1億9,085万5,280円であります。

決算内容につきまして、まず歳入からご説明申し上げます。

決算額は40億8,962万1,219円となり、予算現額に對しまして1億3,130万5,781円の不足となっております。

不足となりました主なものは、分担金の3億円であります。

超過となりました主なものは、繰越金の1億2,711万8,186円と諸収入の3,338万

7,496円であります。

次に、歳出であります。決算額は38億9,876万5,939円となり、予算現額に対しまして3億2,216万1,061円の不用額が生じております。

不用額が生じた主な科目は、総務費の3億1,864万1,337円であります。

以上、一般会計の決算の概要をご説明申し上げますが、詳細につきましては、お手元にご送付いたしております決算書のほか、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書を、また監査委員の審査意見書もあわせてお届けいたしておりますので、何とぞよろしくご審議の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

なお、決算の詳細につきましては、事務局長から説明させますので、よろしくようお願い申し上げます。

○議長（藪内留治君）

次に、補足説明を求めます。事務局長。

○事務局長（田中一裕君）

それでは、認定第1号平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計決算認定を求めるについての補足説明をさせていただきます。

決算書9ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書からご説明申し上げます。

歳入総額40億8,962万1,000円に対しまして、歳出総額38億9,876万6,000円で、歳入歳出差し引き額が1億9,085万5,000円となり、実質収支は同額の1億9,085万5,000円でございます。対前年度との増減で見ますと、歳入は5,844万3,000円、率にして1.4%の増加、歳出では3,430万4,000円、率にして0.9%の増加でございます。

次に、歳入の明細について、収入済額の欄を中心に説明させていただきます。

12、13ページをお願いいたします。

第1款分担金でございますが、34億5,000万円で、前年度と比べ1億2,000万、3.6%の増加でございます。両市の負担割合は、2割を均等割、8割を人口割で算出しておりまして、岸和田市65.008%、貝塚市34.992%となっております。この結果、13ページ備考欄上から4行目に記載のとおり、岸和田市が22億4,277万6,000円、貝塚市が12億722万4,000円でございます。

次に、第2款使用料及び手数料でございますが、2億2,190万8,537円で、前年度と比べ82万6,020円、0.4%の増加でございます。

第1項使用料でございますが、主なものは、13ページ備考欄上から9行目の附属洗車場使用料の133万60円でございます。

次に、第2項手数料でございますが、その内訳は、廃棄物の処分手数料2億2,019万3,350円でございます。

次に、第3款繰越金でございますが、1億6,671万6,186円で、前年度と比べ6,882万1,552円、29.2%の減少でございます。

次に、第4款諸収入でございますが、2億4,319万6,496円で、前年度と比べ1,173万9,167円、5.1%の増加でございます。

その主な内訳は、備考欄一番下の金属類等売払収入5,545万9,651円、受給電力量収入1億8,733万2,072円になります。

14、15ページをお願いいたします。

第5款組合債でございますが、780万円でありまして、前年度と比べ530万円、40.5%の減少でございます。

その内容は、15ページ備考欄上から4行目の大阪湾圏域広域処理場整備委託事業、いわゆるフェニックス事業の事業債でございます。

以上合わせまして、一番下の歳入合計は40億8,962万1,219円で、前年度と比べ5,844万3,635円の増加でございます。

また、予算現額42億2,092万7,000円に対しまして、収入済額との差、1億3,130万5,781円の不足は、分担金3億円の減額が主な理由でございます。

続きまして、歳出の明細についてご説明申し上げます。

16ページ、17ページをお願いいたします。

第1款議会費は、予算現額407万1,000円に対しまして、支出済額369万2,004円で、不用額37万8,996円でございます。支出の主なものは、議員報酬、旅費等でございます。

次に、第2款総務費でございますが、予算現額18億1,333万4,000円に対しまして、支出済額は14億9,469万2,663円で、不用額は3億1,864万1,337円でございます。

第1項総務費につきましては、予算現額1億8,690万1,000円に対しまして、支出済額は1億6,566万9,550円で、不用額は2,123万1,450円でございます。

第1目一般管理費につきましては、支出済額は1億5,829万6,155円で、その内訳は、17ページ備考欄右端下から2つ目、職員給与等1億4,790万6,950円で、これは職員、嘱託職員合わせて21名分の給与等及び清掃組合事務事業1,038万9,205円でございます。

職員給与等の主なものは、職員給与6,553万9,356円と手当等5,839万383円でございます。

清掃組合事務事業の主なものとしたしましては、18ページ、19ページをお願いいたします。第11節需用費169万3,246円で、消耗品費、印刷製本費等、第12節役務費456万5,040円で、クリーンセンターの建物設備等の保険料等でございます。

20、21ページをお願いいたします。

第2目総務管理費でございますが、支出済額710万4,340円で、その内訳は、21ページ備考欄一番上、リサイクル啓発事業でございます。

支出の主なものとしたしましては、第8節報償費228万6,340円、第11節需用費225万3,560円、第13節委託料75万870円で、3Rの推進事業やクリーンセンターフェア開催等に要するものでございます。

第3目公平委員会費は6万3,000円で、公平委員報酬でございます。

第4目監査委員費は20万6,055円で、監査委員報酬及び事務費でございます。

第2項施設費、第1目施設管理費につきましては、予算現額16億2,643万3,000円に対しまして、支出済額は13億2,902万3,113円で、2億9,740万9,887円の不用額でございます。

その内訳は、備考欄右端一番下から2つ目、施設管理運営事業7億9,864万3,833円並びにクリーンセンター維持補修事業に5億1,446万2,280円、次の23ページ備考欄右端上、大阪湾圏域広域処理場整備事業、いわゆるフェニックス事業に873万5,000円、旧清掃工場解体事業に718万2,000円でございます。

20、21ページにお戻り願います。

施設管理運営事業及びクリーンセンター維持補修事業の主なものとしたしましては、最下段、第11節需用費、備考欄の消耗品費1億2,516万4,990円で、これは主に排ガス・排水の処理に必要な薬品類の購入費や焼却及びリサイクル設備の経年劣化に伴い交換する消耗品等でございます。

22、23ページをお願いいたします。

備考欄上から2つ目、光熱水費9,121万5,418円は、当センター全体の電気・上下水道等の料金で、その下、修繕料3,704万3,129円は、クレーン本体及びクレーンバケットや空調機、コンベア設備等の修理や整備点検に要した費用でございます。

第13節委託料の備考欄、施設維持業務委託料5億8,152万5,922円の主なものは、ク

リーンセンター運転管理委託に4億950万円、焼却灰等の埋立処分及び運搬委託に1億966万190円、DCS装置保守点検委託に1,995万円等でございます。

第15節工事請負費、備考欄の工事費3億1,029万2,850円の主なものは、定期点検整備工事に1億9,635万円、ペットボトルの増加に対応するため圧縮機等の増設工事等に5,827万5,000円、焼却炉附帯設備整備工事に1,680万円等でございます。

第16節原材料費、備考欄の原材料費1億6,451万3,219円の主な内容は、第1号ボイラー室第1放射室工事用材料購入に7,696万5,000円、定期点検整備工事用部品に5,811万4,287円等でございます。

次に、第3款公債費、第1項公債費につきましても、予算現額24億52万2,000円に対しまして、支出済額は24億38万1,272円で、不用額14万728円でございます。

その内訳は、備考欄右端中央、長期債元金償還事業に21億5,109万2,206円、長期債利子償還事業に2億4,928万9,066円でございます。平成9年度から平成24年度までのフェニックス事業、旧工場の煙突整備事業及びクリーンセンター建設に伴う土地、建物、設備に対する起債の元金償還及び利子でございます。

第4款予備費でございますが、当初予算額300万円に対しまして、予備費充当額はございません。

以上、歳出合計は、予算現額42億2,092万7,000円に対しまして、支出済額38億9,876万5,939円で、不用額は3億2,216万1,061円になりまして、執行率は92.4%でございます。

不用額の主なものといましては、焼却炉等の運転に係る需用費で2,770万9,647円、委託料で1,860万4,578円、工事請負費で2億2,670万7,150円等でありまして、ク

リーンセンター稼働後6年が経過し、職員の技術力の向上に基づいた効率的な運転管理及び定期点検等の内容の精査によるものでございます。

続きまして、財産に関する調書を説明いたします。

26、27ページをお願いいたします。

公有財産、土地及び建物でございますが、土地は14万2,337.09平方メートル、建物は5万9,249.18平方メートルと前年度と変更はございません。

次に、28ページをお願いいたします。

重要物品調書でございます。取得価格が50万円以上の物品を掲載しておりますが、前年度より車両類が1台減少しております。これは、軽トラック1台をリースとしたことによるものです。

説明は以上でございます。何とぞよろしくお願いいたします。

○議長（藪内留治君）

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はありますか。明石議員。

○9番（明石輝久君）

21ページ、リサイクル啓発事業についてお伺いします。

この実施状況をまず教えていただけますか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

主に、7月初旬に両市とともに組合のほうで行っておりますリサイクルフェア、それから年間を通して、一般というんですか、市民の方々を対象にした、いわゆる啓発推進の各種教室、講習事業、それから夏休み中の子どもさん、生徒さんに対する3Rの推進の講座事業、こういうものが主なものでございます。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

参加人数はどれぐらいですか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

ちょっと詳しい内容のほうはお待ちいただきまして、恐れ入りますが、すぐ用意いたします。

○議長（藪内留治君）

暫時休憩します。

午後2時14分休憩

午後2時16分再開

○議長（藪内留治君）

会議を再開します。

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

大変失礼しました。

24年度のクリーンセンターフェアの来場者につきましては631名、それから3Rの体験教室、先ほど申しましたいろいろな講座等でございますが、24年度は54回の開催で延べ278名、それから小学生の社会見学等、これにつきましては24年度で、岸和田・貝塚両市で31校で2,942名です。

以上です。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

出していただいた数字を見て、これを多と見るのか少ないと見るのかというのはあるんですけども、清掃工場としてのリサイクルの啓発事業の目的からいって、今の現況でいいとは思ってないやろと思うんですけども、今後も含めて、これをどう広めていくのかという方向性というのはどのよ

うに考えられてますか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

啓発事業は、もちろん私ども、中間処理、ごみの焼却という施設として独自に3R啓発事業を行っております。先ほど申しました事業が主なものでございますが、これにつきましては本来、構成市であります岸和田・貝塚市のごみの収集の啓発担当、これにつきましても各市として独自の啓発をされておりますので、今後も3者が収集、それから焼却のほう、共同して啓発に取り組んでいきたいと、こう思っております。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

3者でこれから努力していただくと。特にリサイクルということで、長い間、両市でも分別収集したりですね、市民が相当努力をされて、ごみそのものの量も減ってきてるわけですけども、それと同時に、今、事業系のごみの問題が、やっぱりごみ質からいうと、市民が分別してやってるものと比べていろいろ課題があるんじゃないかなというふうに思ってます。

そういう点で、いわゆるリサイクルの啓発事業、一般の市民対象、それから学校とかそういう教育関係の対象、全ての含んだフェアというようなことでの実施、非常にありがたいと思うんですけどね、やっぱりある意味、ここに事業者が抜けてるといのは、実際抜けてないんやろと思うんですけども、2市とこの清掃工場と含めて、啓発なりというのは、事業者にも一緒にやってもらうということではなかったら、やっぱり本来のごみのリサイクル等々も含めて完璧じゃないなど。完璧というのがどうなのか別ですけども、そこにやっぱり問題が

あろうかなど。

せっかくやるこういう啓発事業ですんでね、事業者にも努力をしていただいて一緒にやっていただくとか、いろんなことを考えていくべきやなというふうに思うんですけど、その点を聞かしていただけますか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

今議員さんおっしゃる市内の事業者に対する収集は、各市の許可業者のほうで行ってるんですが、私ども施設組合のほうも、いわゆる3者会議というので、両市の収集担当課と、それから私ども組合とで、3者で月1回定例でいろんな問題、課題について協議をしております。

その中で施設組合としても、いわゆる事業所からのごみのものにはいろいろチェックをしておりますが、そこら辺はその3者会議において、市内の事業所のごみの収集許可業者、これに対する指導は各市、それぞれの市の収集担当課が担当でございますので、その問題を3者協議で話して市のほうで取り組んでいただいている、また指導とかそういうことをしていただいている、こういう状況です。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

聞いているのは、いわゆる指導課かな、それは当然やってもらわんといかんことやと。ただ、こういうごみの啓発とか、ごみを減らそうとか、分別を進めようとかいう場合に、事業者を取り締まるというような観点だけじゃなしに、市民と一緒にやってこういう方策を推進しようというようなところにぜひ参加してもらって、一緒になって減らしていくというようなことを、やっぱりともに考えるべき違うかなというふうに思

うんです。

そういう点からいうたら、柱の1個がリサイクルの啓発事業の中に、完全に抜けてるとは言いませんけども、やはりそこを加えてやっていくほうが、より進むんじゃないかなというふうに考えてます。そういう点での考え方をお聞きしてるんですけども、その点についてはどうでしょうか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

ごみの減量を進めるということで、3R、分別収集を進めるということは、おっしゃるとおり大事なことでございまして、今も両市とともに取り組んでおります。先ほど申し上げましたように、3者会議の中で、いわゆる事業所の収集をするのは許可業者でございますので、市のほうでそこら辺は取り組みは一緒にやっていただくようにするのが、そういう分野であると考えております。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

もう何回も言いませんけど、言っときますけどね、やってることはわかってるんですよ。もう一つ輪を広げて、一緒に減らそうというような、祭りなりなんかはできないかと言うてる。それだけです。

議長、よろしいか、もう一言。

こういうことも含めて今後考えられるんやったら、答がすぐ出ないんやったら別に構わないんです。だから、一つの考え方として、やっぱり聞き置いてもらうということで、どうですか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

議員さんのおっしゃってるとおりに思う

んですけども、施設組合、これはごみの焼却の施設でございますので、今言う収集とか、事業所に対する指導、協調してやっていくというのは両市の分野、こういうことでございます。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

これ以上やりませんが、もちろんそのとおりなんです。だから、3者で協力して、全体としてこういうお祭りをやったりいろいろやるんやから、市内の事業者なんかにも働きかけをして参加していただくとか、いろんな減らす方向というのは、単にここだけで考えろと言うてるんじゃないんでね、そのことも含めて可能性はないんですかと聞いている。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

私も何遍もで申しわけないんですが、3者会議でそのほうは、先ほど言うてますように、協議しております。市内の事業所の収集は許可業者でございますので、そこら辺イニシアチブをとるべきところは両市でと、こういうふうに考えております。

○議長（藪内留治君）

暫時休憩します。

午後2時26分休憩

午後2時26分再開

○議長（藪内留治君）

会議を再開します。

管理者 野口 聖君。

○管理者（野口 聖君）

先ほど事務局次長から申し上げておりますが、やはり議員さんの言うてることもわかっておりますので、3者会議の中で十分

協議して、その方向で進めていきたいと、こんなふうに思っております。

以上です。

○議長（藪内留治君）

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

討論なしと認めます。

これより認定第1号を採決いたします。

本決算は、これを認定することに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

ご異議なしと認めます。よって、平成24年度決算は認定されました。

○議長（藪内留治君）

以上をもちまして、本定例会の日程は全て終了いたしました。

各案件につきまして慎重にご審議賜り、厚くお礼申し上げます。

ここで、管理者からご挨拶を申し上げたいとの申し出がありますので、発言を許します。管理者 野口 聖君。

○管理者（野口 聖君）

発言のお許しをいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

初めに、今期定例会にご提案申し上げました議案につきまして、ご審議の上、ご議決を賜りまして、まことにありがとうございました。

私の岸和田市長としての任期が12月14日をもって終わりますので、岸和田市貝塚市清掃施設組合の管理者も、同日をもって退任することとなります。

今期定例会は、緊急の事案がない限り、管理者としての最後の議会となりますので、この機会に一言御礼を申し述べさせていただきます。

私は、管理者として合わせて4年間、岸和田市・貝塚市における快適な生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、安全・安心を第一に、新たに整備したクリーンセンターの適切な管理運営に努めてまいりました。

この間、廃棄物を適正かつ安全に処理することができましたのも、ひとえに議員各位を初めとして、職員の皆さん、そして両市の市民の皆様のご理解とご協力のおかげと、心から深く感謝を申し上げます。

今後とも、施設組合と岸和田・貝塚両市が一体となって、さらなる資源循環型社会の形成に取り組み、29万市民の健康で文化的な生活の確保に寄与されることを願っています。

最後に、議員各位のこれまでのご厚情に対しまして、改めて深く感謝を申し上げますとともに、今後ますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます、私からの御礼のご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

○議長（藪内留治君）

これをもちまして、平成25年第3回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

午後2時29分閉会

上記会議録の正確なるを証するためここに署名する。

岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議長 藪内 留治	
同議員 中井 良介	
同議員 米田 貴志	

平成25年第3回組合議会定例会議案

議案番号	件名	備考
認定第1号	平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて	別冊

岸和田市貝塚市清掃施設組合

認定第 1 号

平成 24 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて

平成 24 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計の決算は、別紙のとおり監査委員の審査を経たので、地方自治法第 233 条第 3 項の規定により議会の認定を求める。

平成 25 年 10 月 22 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管理者 野 口 聖

平成24年度

岸和田市貝塚市清掃施設組合決算書

目 次

平成24年度	一般会計歳入歳出決算書
平成24年度	実質収支に関する調書
平成24年度	歳入歳出決算事項別明細書
平成24年度	財産に関する調書

平成24年度 一般会計歳入歳出決算書

歳 出

款	項	予 算 現 額
01 議会費		4,071,000
	01 議会費	4,071,000
02 総務費		1,813,334,000
	01 総務費	186,901,000
	02 施設費	1,626,433,000
03 公債費		2,400,522,000
	01 公債費	2,400,522,000
04 予備費		3,000,000
	01 予備費	3,000,000
歳 出 合 計		4,220,927,000

(単位:円)

支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
3,692,004		378,996	378,996
3,692,004		378,996	378,996
1,494,692,663		318,641,337	318,641,337
165,669,550		21,231,450	21,231,450
1,329,023,113		297,409,887	297,409,887
2,400,381,272		140,728	140,728
2,400,381,272		140,728	140,728
0		3,000,000	3,000,000
0		3,000,000	3,000,000
3,898,765,939		322,161,061	322,161,061

歳入歳出差引残高

190,855,280円

平成25年10月22日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管理者 野口 聖

実 質 収 支 に 関 す る 調 書

区 分		一般会計	金 額
			千円
1.	歳 入 総 額		4,089,621
2.	歳 出 総 額		3,898,766
3.	歳 入 歳 出 差 引 額		190,855
4.	(1) 継続費逡次繰越額		
	(2) 繰越明許費繰越額		
	(3) 事故繰越し繰越額		
	計		
5.	実 質 収 支 額		190,855
6.	実質収支額のうち地方自治法第232条の2の規程による基金繰入額		

歲入歲出決算事項別明細書

歳入

款項目	予		算		現	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	計	節	
					区分	
01 分担金	3,750,000,000			3,750,000,000		
01 分担金	3,750,000,000			3,750,000,000		
01組合市分担金	3,750,000,000			3,750,000,000		
						01 組合市分担金
02 使用料及び手数料	213,420,000			213,420,000		
01 使用料	1,798,000			1,798,000		
01 総務使用料	1,798,000			1,798,000		
						01 土地使用料
						02 施設使用料
02 手数料	211,622,000			211,622,000		
01 焼却手数料	211,622,000			211,622,000		
						01 廃棄物手数料
03 繰越金	39,598,000			39,598,000		
01 繰越金	39,598,000			39,598,000		
01 繰越金	39,598,000			39,598,000		
						01 繰越金
04 諸収入	209,809,000			209,809,000		
01 雑入	209,809,000			209,809,000		
01 雑入	209,809,000			209,809,000		
						01 雑入

(単位:円)

額					
	調定額	収入額	不納欠損額	収入未済額	備 考
金 額					
	3,450,000,000	3,450,000,000		0	
	3,450,000,000	3,450,000,000		0	
	3,450,000,000	3,450,000,000		0	
3,750,000,000	3,450,000,000	3,450,000,000		0	岸和田市分担金 2,242,776,000 貝塚市分担金 1,207,224,000
	221,908,537	221,908,537		0	
	1,715,187	1,715,187		0	
	1,715,187	1,715,187		0	
448,000	385,127	385,127		0	電柱埋設地等使用料 385,127
1,350,000	1,330,060	1,330,060		0	附属洗車場使用料 1,330,060
	220,193,350	220,193,350		0	
	220,193,350	220,193,350		0	
211,622,000	220,193,350	220,193,350		0	
	166,716,186	166,716,186		0	
	166,716,186	166,716,186		0	
	166,716,186	166,716,186		0	
39,598,000	166,716,186	166,716,186		0	前年度繰越金 166,716,186
	243,196,496	243,196,496		0	
	243,196,496	243,196,496		0	
	243,196,496	243,196,496		0	
209,809,000	243,196,496	243,196,496		0	金属類等売払収入 55,459,651 受給電力量収入 187,332,072 雇用保険料本人掛金 55,954 その他雑収入 348,819

款項目	予 算				現
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	計	節
					区 分
05 組合債	8,100,000			8,100,000	
01 組合債	8,100,000			8,100,000	
01 清掃施設設備事業債	8,100,000			8,100,000	
					01 清掃施設整備事業債
歳 入 合 計	4,220,927,000			4,220,927,000	

額					
	調定額	収入額	不納欠損額	収入未済額	備 考
金 額					
	7,800,000	7,800,000		0	
	7,800,000	7,800,000		0	
	7,800,000	7,800,000		0	
8,100,000	7,800,000	7,800,000		0	大阪湾圏域広域処理場 整備委託事業債 7,800,000
	4,089,621,219	4,089,621,219		0	

歳 出

款項目	予 算					現 計	額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継 続 費 及 び 繰 越 事 業 費 繰 越 財 源 充 当 額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計		節
							区 分
01 議会費	4,071,000				4,071,000		
01 議会費	4,071,000				4,071,000		
01 議会費	4,071,000				4,071,000		
						01 報酬	
						03 職員手当等	
						09 旅費	
						10 交際費	
						11 需用費	
						12 役務費	
						14 使用料及び 賃貸料	
						18 備品購入費	
02 総務費	1,813,334,000				1,813,334,000		
01 総務費	186,901,000				186,901,000		
01 一般管理費	176,477,000				176,477,000		
						01 報酬	
						02 給料	
						03 職員手当等	

(単位:円)

金額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	備考	
		継続繰越	費次繰越	繰越事由			
	3,692,004				378,996		
	3,692,004				378,996		
	3,692,004				378,996		議員報酬等
1,859,000	1,796,000				63,000	議員報酬 1,796,000	2,339,300
650,000	543,300				106,700	議員期末手当 543,300	組合議会運営事業
992,200	872,990				119,210	費用弁償 723,380 普通旅費 149,610	1,352,704
50,000	0				50,000		
136,000	100,914				35,086	印刷製本費 84,840 消耗品費 16,074	
283,500	283,500				0	筆耕翻訳料 283,500	
95,300	95,300				0	使用料及び賃借料 95,300	
5,000	0				5,000		
	1,494,692,663				318,641,337		
	165,669,550				21,231,450		
	158,296,155				18,180,845		職員給与等
300,000	300,000				0	特別職報酬 300,000	147,906,950
71,950,000	65,539,356				6,410,644	一般職給 65,539,356	清掃組合事務事業
64,968,000	58,390,383				6,577,617	扶養手当 3,188,000 管理職手当 2,844,000 地域手当 4,294,299 住居手当 972,000 嘱託手当 11,877,552 超過勤務手当 4,042,559 通勤手当 3,394,790 期末勤勉手当 25,829,703 特殊勤務手当 127,480 児童手当 1,820,000	10,389,205

款項目	予 算					現 計	額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継 続 的 経 営 費 及 び 業 務 費 充 分 額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	節		
					区 分		
						04 共済費	
						07 賃金	
						08 報償費	
						09 旅費	
						10 交際費	
						11 需用費	
						12 役務費	
						13 委託料	
						14 使用料及び賃借料	
						18 備品購入費	
						19 負担金補助及び交付金	
						27 公課費	

金額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	備考
		継続 繰越	費次 繰越	明許 繰越		
26,610,000	23,677,211				2,932,789	健康保険組合等負担金 859,180 職員共済組合負担金 22,345,479 公務災害補償負担金 472,552
1,099,000	1,029,238				69,762	臨時雇 1,029,238
38,000	0				38,000	
512,000	434,320				77,680	費用弁償 99,740 普通旅費 334,580
50,000	0				50,000	
2,871,000	1,693,246				1,177,754	消耗品費 654,378 燃料費 349,384 印刷製本費 402,317 光熱水費 163,744 修繕費 119,905 医薬材料費 3,518
4,845,000	4,565,040				279,960	通信運搬費 846,359 手数料 437,042 保険料 3,281,639
1,608,000	1,577,460				30,540	その他の委託料 1,577,460
252,000	61,694				190,306	使用料及び賃借料 61,694
450,000	231,000				219,000	庁用器具費 231,000
805,000	724,107				80,893	負担金 424,107 補助金 300,000
119,000	73,100				45,900	公課費 73,100

款項目	予 算					現 計	額	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継 続 及 び 繰 越 事 業 費 操 越 財 源 充 当 額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	節		区 分	
02 総務管理費	9,991,000				9,991,000			
						07 賃金		
						08 報償費		
						11 需用費		
						12 役務費		
						13 委託料		
						14 使用料及び 賃借料		
						16 原材料		
						18 備品購入費		
						19 負担金補助 及び交付金		
03 公平委員会費	63,000				63,000			
						01 報酬		
04 監査委員費	370,000				370,000			
						01 報酬		
						09 旅費		
						11 需用費		
02 施設費	1,626,433,000				1,626,433,000			
01 施設管理費	1,626,433,000				1,626,433,000			
						08 報償費		
						09 旅費		
						11 需用費		

金額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	備考	
		継続 繰越	費次 繰越	繰越 明許費		事故 繰越	
	7,104,340				2,886,660		リサイクル啓発事業
1,099,000	961,948				137,052	臨時雇	961,948
4,026,000	2,286,340				1,739,660	報奨金	2,286,340
2,701,000	2,253,560				447,440	消耗品費	1,766,269
						燃料費	4,080
						印刷製本費	342,753
						修繕料	132,000
						医薬材料費	8,458
510,000	377,830				132,170	通信運搬費	293,480
						手数料	22,050
						保険料	62,300
963,000	750,870				212,130	その他の委託料	750,870
367,000	293,421				73,579	使用料及び賃借料	293,421
100,000	90,765				9,235	原材料費	90,765
75,000	62,506				12,494	庁用器具費	13,080
						図書購入費	49,426
150,000	27,100				122,900	負担金	27,100
	63,000				0		委員報酬
63,000	63,000				0	委員報酬	63,000
	206,055				163,945		委員報酬
146,000	144,000				2,000	委員報酬	144,000
70,000	0				70,000		監査管理事務事業
154,000	62,055				91,945	印刷製本費	62,055
	1,329,023,113				297,409,887		
	1,329,023,113				297,409,887		施設管理運営事業
72,000	0				72,000		798,643,833
10,000	0				10,000		クリーンセンター維持補修事業
285,678,000	257,968,353				27,709,647	消耗品費	125,164,990
						燃料費	4,475,516

款項目	予 算					現 計	額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継 続 操 業 及 費 用 充 分 財 源 充 實 費 用 額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	節		
					区 分		
							12 役務費
							13 委託料
							15 工事請負費
							16 原材料費
							18 備品購入費
							27 公課費
03 公債費	2,400,522,000					2,400,522,000	
01 公債費	2,400,522,000					2,400,522,000	
01 元金	2,151,093,000					2,151,093,000	
							23 償還金利子 及び割引料
02 利子	249,429,000					249,429,000	
							23 償還金利子 及び割引料
04 予備費	3,000,000					3,000,000	
01 予備費	3,000,000					3,000,000	
01 予備費	3,000,000					3,000,000	
							予備費
歳 出 合 計	4,220,927,000					4,220,927,000	

金額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	備考	
		継続費 繰越	繰越 明許費	事故 繰越			
						印刷製本費 69,300	大阪湾圏域広域処理場 整備事業
						光熱水費 91,215,418	8,735,000
						修繕料 37,043,129	旧清掃工場 解体事業
7,150,000	5,991,901				1,158,099	手数料 5,991,901	7,182,000
608,268,000	589,663,422				18,604,578	施設維持業務 委託料 581,525,922	
						設計・測量等 委託料 7,182,000	
						その他の委託料 955,500	
537,000,000	310,292,850				226,707,150	工事費 310,292,850	
187,600,000	164,513,219				23,086,781	原材料費 164,513,219	
300,000	246,468				53,532	庁用器具費 239,250	
						図書購入費 7,218	
355,000	346,900				8,100	公課費 346,900	
	2,400,381,272				140,728		長期債元金 償還事業
	2,400,381,272				140,728		2,151,092,206
	2,151,092,206				794		長期債利子 償還事業
2,151,093,000	2,151,092,206				794	償還金 2,151,092,206	249,289,066
	249,289,066				139,934		
249,429,000	249,289,066				139,934	利子及び割引料 249,289,066	
	0				3,000,000		
	0				3,000,000		
	0				3,000,000		
3,000,000	0				3,000,000		
	3,898,765,939				322,161,061		

財 産 に 関 す る 調 書

1. 公用財産

(1) 土地及び建物

区 分		土 地(地 積)			建	
					木 造	
		前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高
行 政 財 産	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	89,999.00 ^{m²}	^{m²}	89,999.00 ^{m²}	^{m²}	^{m²}
	旧 清 掃 工 場	10,834.66		10,834.66		
	小湊川側進入道路	935.38		935.38		
	久保側進入道路	1,277.05		1,277.05		
	埋 立 用 地	34,917.00		34,917.00		
小 計		137,963.09		137,963.09		
普 通 財 産		4,374.00		4,374.00		
合 計		142,337.09		142,337.09		

物

(延面積)	非 木 造 (延面積)			延 面 積 計		
	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高
m ²	m ² 53,799.98	m ²	m ² 53,799.98	m ² 53,799.98	m ²	m ² 53,799.98
	5,449.20		5,449.20	5,449.20		5,449.20
	59,249.18		59,249.18	59,249.18		59,249.18
	59,249.18		59,249.18	59,249.18		59,249.18

2.重要物品調書

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
机 ・ 卓 子 類	4 台	台	4 台
い す 類	3		3
事務用機械器具類	8		8
計 器 類	10		10
電 気 器 具 類	1		1
機 械 類	41		41
工 具 類	12		12
車 両 類	13	△ 1	12
理科学実験器具類	2		2
標 本 模 型 類	2		2
雑 具 類	7		7
合 計	103	△ 1	102

平成 24 年 度

岸和田市貝塚市清掃施設組合
決 算 審 査 意 見 書

岸和田市貝塚市清掃施設組合監査委員

岸貝清組監査第8号
平成 25 年9月 20 日

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管理者 野 口 聖 様

岸和田市貝塚市清掃施設組合
監査委員 本田 由良夫
同 鳥居 宏次

平成 24 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計
歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 233 条第 2 項の規定により、審査に付された平成 24 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計の歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、その結果についての意見を次のとおり提出します。

目 次

第1 審査の対象	-----	1
第2 審査の期間	-----	1
第3 審査の方法	-----	1
第4 審査の結果	-----	1
第5 総括意見	-----	1
第6 審査の概況	-----	3
1 一般会計	-----	3
(1)決算状況	-----	3
(2)歳 入	-----	4
(3)歳 出	-----	8
2 財 産	-----	12
(1)公有財産	-----	12
(2)重要物品	-----	13

注記

- 1 千円単位で表示した金額は、百円単位を四捨五入した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 2 比率(%)は、小数点第2位を四捨五入した。そのため小計又は合計が内訳と一致しない場合がある。
- 3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「0.0」---- 該当数値はあるが単位未満のもの
「 - 」---- 該当数値がないもの
「 △ 」---- マイナスのもの

平成 24 年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成 24 年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算

第 2 審査の期間

平成 25 年8月 22 日から平成 25 年9月 20 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、一般会計歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書が関係法令に準拠して作成されているか、また、これらの書類の計数は関係諸帳簿、証書類と一致しているかを照査したほか、必要に応じ関係職員の説明を聴取して審査した。

第 4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書及び関係書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿と符合し、その係数は正確であり、予算の執行についてもおおむね適正に運用されているものと認められた。

なお、一般会計の概要及び意見については、以下に述べるとおりである。

第 5 総括意見

平成 24 年度の一般会計決算額は、歳入 4,089,621,219 円(対前年度比 1.4%増)、歳出 3,898,765,939 円(同 0.9%増)で、歳入歳出差引額の形式収支は 190,855,280 円となり、実質収支も 190,855,280 円となっている。

歳入の主な増減をみると、前年度に比べ分担金で 120,000 千円(3.6%)、諸収入で 11,739 千円(5.1%)増加し、繰越金で 68,822 千円(29.2%)、組合債で 5,300 千円(40.5%)減少している。

他方、歳出の主な増減は、総務費で 36,784 千円(2.5%)の増加となっている。

性質別歳出決算状況については、義務的経費で 5,622 千円(0.2%)、投資的経費で 5,892 千円(40.3%)の減少、その他経費で 45,818 千円(3.5%)の増加である。

この結果、歳出に占める割合は、義務的経費 65.4%、投資的経費 0.2%、その他経費 34.4%となっている。

当年度は、岸和田市貝塚市クリーンセンターが本格的に稼動を開始してから6年目にあたり、決算においては、クリーンセンター建設にかかる起債の償還がピーク時を迎えている。この状況は翌年度以降もしばらく継続することに加え、ごみ焼却炉を中心として部材等の消耗・劣化もさらに進行することが考えられるため、施設の運営維持経費にかかる相応の負担は今後も大きく軽減することは難しい状況にある。

したがって、構成市の岸和田・貝塚両市の厳しい財政状況も鑑みながら、本組合においては今後も負担抑制に向けた努力が引き続き強く求められている。

そういう中で自主財源についてみると、使用料及び手数料については前年度比826千円(0.4%)の微増に止まっており、事業系一般廃棄物処分手数料の減免制度の見直しをはじめ、財源の堅実な確保に引き続き努力を重ねられたい。

さらに、金属類等売払収入及び受給電力量収入については、近隣自治体・組合、市場動向等の情報収集を積極的に行い、より一層の確保に努め、両市分担金の軽減を図られたい。

今後も、稼動後の実績を踏まえ、施設の安定運営を確保しつつ「最少の経費で最大の効果」を目指し、一層効率的な事業運営を行うとともに、各方面に関わる課題については両市と十分協議を進めながら、廃棄物処理事業の安心・安全かつ円滑な遂行に努め、市民の快適な生活環境づくりに寄与されることを望むものである。

第6 審査の概況

1 一般会計

(1) 決算状況

歳入歳出予算現額	4,220,927,000 円
歳入決算額	4,089,621,219 円
歳出決算額	3,898,765,939 円
歳入歳出差引残額	190,855,280 円

当年度の決算状況は、予算現額 4,220,927 千円に対し、歳入 4,089,621 千円(対前年度比 1.4%増)、歳出 3,898,766 千円(同 0.9%増)で、歳入歳出差引額の形式収支は 190,855 千円となり、実質収支も 190,855 千円で、単年度収支は 24,139 千円となっている。

過去5年間における決算状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

区分 年度	決算額		形式収支	翌年度へ繰越 すべき財源(D)	実質収支 (C)-(D)	単年度収支 (当該年度実質収支- 前年度実質収支)
	歳入 (A)	歳出 (B)	(A)-(B)=(C)			
24	4,089,621,219	3,898,765,939	190,855,280	0	190,855,280	24,139,094
23	4,031,177,584	3,864,461,398	166,716,186	0	166,716,186	△68,821,552
22	4,028,565,868	3,793,028,130	235,537,738	0	235,537,738	54,957,811
21	3,727,146,349	3,546,566,422	180,579,927	0	180,579,927	8,741,787
20	3,226,748,168	3,054,910,028	171,838,140	0	171,838,140	△20,149,312

(2) 歳 入

	24 年度	23 年度
予 算 現 額	4,220,927,000 円	4,303,165,000 円
調 定 額	4,089,621,219 円	4,031,177,584 円
収 入 済 額	4,089,621,219 円	4,031,177,584 円
不納欠損額	0 円	0 円
収入未済額	0 円	0 円

当年度の歳入は、予算現額 4,220,927 千円に対し、調定額、収入済額とともに 4,089,621 千円となり、前年度に比べ 58,443 千円(1.4%)増加している。

増加した主なものは、分担金で 120,000 千円(3.6%)、使用料及び手数料で 826 千円(0.4%)、諸収入で 11,739 千円(5.1%)である。

減少したものは、繰越金で 68,822 千円(29.2%)、組合債で 5,300 千円(40.5%)である。

財源別では、自主財源は 4,081,821 千円(構成比 99.8%)で、前年度に比べ 63,744 千円(1.6%)増加し、依存財源は 7,800 千円(構成比 0.2%)で、5,300 千円(40.5%)減少している。

款別歳入決算状況については、次表のとおりである。

(単位:円、%)

区分 款別	24 年 度			収 入 率		構成 比率	23 年 度	構成 比率
	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予算現額 に対する	調 停 額 に対する		収 入 済 額	
分担金	3,750,000,000	3,450,000,000	3,450,000,000	92.0	100.0	84.4	3,330,000,000	82.6
使用料及び 手数料	213,420,000	221,908,537	221,908,537	104.0	100.0	5.4	221,082,517	5.5
繰越金	39,598,000	166,716,186	166,716,186	421.0	100.0	4.1	235,537,738	5.8
諸収入	209,809,000	243,196,496	243,196,496	115.9	100.0	5.9	231,457,329	5.7
組合債	8,100,000	7,800,000	7,800,000	96.3	100.0	0.2	13,100,000	0.3
計	4,220,927,000	4,089,621,219	4,089,621,219	96.9	100.0	100.0	4,031,177,584	100.0

各款別について決算内容は、以下のとおりである。

第1款 分担金

(単位:円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	対予算 増減額	収入率
24	3,750,000,000	3,450,000,000	3,450,000,000	0	0	△300,000,000	100.0
23	3,845,000,000	3,330,000,000	3,330,000,000	0	0	△515,000,000	100.0
増減	△95,000,000	120,000,000	120,000,000	0	0	215,000,000	

予算現額 3,750,000 千円に対し、調定額、収入済額ともに 3,450,000 千円となり、前年度に比べ 120,000 千円 (3.6%) 増加している。

収入済額の内訳は、岸和田市分担金 2,242,776 千円、貝塚市分担金 1,207,224 千円である。

これについては、当初予算額から 300,000 千円の減額となっているが、両市の厳しい財政状況に鑑み、今後も歳入歳出両面での努力を重ね、分担金の軽減を図られたい。

第2款 使用料及び手数料

(単位:円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	対予算 増減額	収入率
24	213,420,000	221,908,537	221,908,537	0	0	8,488,537	100.0
23	211,980,000	221,082,517	221,082,517	0	0	9,102,517	100.0
増減	1,440,000	826,020	826,020	0	0	△613,980	

予算現額 213,420 千円に対し、調定額、収入済額とともに 221,909 千円となり、前年度に比べ 826 千円 (0.4%) 増加している。

収入済額の内訳は、使用料 1,715 千円、手数料 220,193 千円である。

手数料については、前年度より 776 千円 (0.4%) 増加しているが、これは、ごみ搬入量の増に伴い廃棄物処分手数料が増加したことによるものである。

廃棄物処分手数料については、事業系一般廃棄物処分手数料の減免制度の見直しを進めるなど、受益者負担の適正化に向けて努力を重ねられたい。

第3款 繰越金

(単位:円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	対予算 増減額	収入率
24	39,598,000	166,716,186	166,716,186	0	0	127,118,186	100.0
23	34,845,000	235,537,738	235,537,738	0	0	200,692,738	100.0
増減	4,753,000	△68,821,552	△68,821,552	0	0	△73,574,552	

予算現額 39,598 千円に対し、調定額、収入済額ともに 166,716 千円となり、前年度に比べ 68,822 千円(29.2%)減少している。

第4款 諸収入

(単位:円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	対予算 増減額	収入率
24	209,809,000	243,196,496	243,196,496	0	0	33,387,496	100.0
23	194,840,000	231,457,329	231,457,329	0	0	36,617,329	100.0
増減	14,969,000	11,739,167	11,739,167	0	0	△3,229,833	

予算現額 209,809 千円に対し、調定額、収入済額ともに 243,196 千円となり、前年度に比べ 11,739 千円(5.1%)増加している。

これは、金属類等売払収入で、市場での有価物価格の下降に伴って 27,393 千円(33.1%)の減少となったものの、受給電力量収入で、39,375 千円(26.6%)と大きく増加したことによるものである。

金属類等売払収入や受給電力量収入は貴重な自主財源であり、市場動向等に留意しつつ、引き続き安定的な確保に努められたい。

第5款 組合債

(単位:円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	対予算 増減額	収入率
24	8,100,000	7,800,000	7,800,000	0	0	△300,000	100.0
23	16,500,000	13,100,000	13,100,000	0	0	△3,400,000	100.0
増減	△8,400,000	△5,300,000	△5,300,000	0	0	3,100,000	

予算現額 8,100 千円に対し、調定額、収入済額ともに、7,800 千円となり、前年度に比べ5,300 千円(40.5%)減少している。これは、大阪湾圏域広域処理場整備事業費の減に伴い、起債発行額が減少したためである。

(3)歳 出

	24年度	23年度
予 算 現 額	4,220,927,000 円	4,303,165,000 円
支 出 済 額	3,898,765,939 円	3,864,461,398 円
翌年度繰越額	0 円	0 円
不 用 額	322,161,061 円	438,703,602 円

当年度の歳出は、予算現額 4,220,927 千円に対し、支出済額は 3,898,766 千円（執行率 92.4%）となり、前年度に比べ 34,305 千円（0.9%）増加している。

不用額 322,161 千円の内訳は、主に総務費における 318,641 千円である。

支出済額を款別にみると、議会費 3,692 千円（構成比 0.1%）、総務費 1,494,693 千円（同 38.3%）、公債費 2,400,381 千円（同 61.6%）である。

総務費で 36,784 千円（2.5%）増加し、公債費で 2,766 千円（0.1%）の減少となっている。

節別に前年度と比較してみると、給料 2,453 千円（3.6%）、需用費 58,158 千円（18.2%）、委託料 2,043 千円（0.3%）、備品購入費 1,031 千円（65.6%）の減少に対し、工事請負費 70,784 千円（29.6%）、原材料費 31,863 千円（24.0%）の増加となっている。

目的別歳出決算状況については、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区分 款別	24 年 度				23 年度	支出済額 増 減	支出済額 構成比率	
	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度 繰越額	支出済額		24 年度	23 年度
議会費	4,071,000	3,692,004	90.7	—	3,405,235	286,769	0.1	0.1
総務費	1,813,334,000	1,494,692,663	82.4	—	1,457,908,781	36,783,882	38.3	37.7
公債費	2,400,522,000	2,400,381,272	100.0	—	2,403,147,382	△2,766,110	61.6	62.2
予備費	3,000,000	0	—	—	0	—		
計	4,220,927,000	3,898,765,939	92.4	—	3,864,461,398	34,304,541	100	100

性質別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位:千円、%)

区 分		24 年 度		23 年 度		増減額	増減率
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
義務的経費	人 件 費	148,759	3.8	151,523	3.9	△2,764	△1.8
	扶 助 費	1,820	0.0	1,912	0.0	△92	△4.8
	公 債 費	2,400,381	61.6	2,403,147	62.2	△2,766	△0.1
	計	2,550,960	65.4	2,556,582	66.2	△5,622	△0.2
投資的経費	普通建設事業費	8,735	0.2	14,627	0.4	△5,892	△40.3
	災害復旧事業費	—	—	—	—	—	—
	計	8,735	0.2	14,627	0.4	△5,892	△40.3
その他経費	物 件 費	984,957	25.3	1,009,044	26.1	△24,087	△2.4
	維持補修費	347,336	8.9	277,177	7.2	70,159	25.3
	補 助 費 等	6,778	0.2	7,032	0.2	△254	△3.6
	計	1,339,071	34.4	1,293,253	33.5	45,818	3.5
歳出合計		3,898,766	100	3,864,462	100.0	34,304	0.9

(注)この表は、総務省が決算統計作成のため定めた統一基準を受けて、一般会計を対象として作成されたものである。

義務的経費は2,550,960千円で、前年度に比べ5,622千円(0.2%)減少している。これは職員にかかる給与及び手当の減少により人件費で2,764千円(1.8%)、公債費で2,766千円(0.1%)減少したためである。

投資的経費は8,735千円で、前年度に比べ5,892千円(40.3%)減少している。これは大阪湾広域廃棄物埋立処分場建設工事に係る事業費が減少したためである。

その他の経費は1,339,071千円で、前年度に比べ45,818千円(3.5%)増加している。これは、施設運営開始6年経過による維持管理費増加に伴うものである。

各目的別について決算内容は、以下のとおりである。

第1款 議会費

(単位:円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
24	4,071,000	3,692,004	0	378,996	90.7
23	4,097,000	3,405,235	0	691,765	83.1
増減	△26,000	286,769	0	△312,769	

予算現額 4,071 千円に対し、支出済額は 3,692 千円(執行率 90.7%)となり、前年度に比べ 287 千円(8.4%)増加している。

支出済額の主なものは、人件費 2,339 千円(構成比 63.4%)、旅費 873 千円(同 23.6%)である。

第2款 総務費

(単位:円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
24	1,813,334,000	1,494,692,663	0	318,641,337	82.4
23	1,892,810,000	1,457,908,781	0	434,901,219	77.0
増減	△79,476,000	36,783,882	0	△116,259,882	

予算現額 1,813,334 千円に対し、支出済額は 1,494,693 千円(執行率 82.4%)となり、前年度に比べ 36,784 千円(2.5%)増加している。

これは、主に施設運営開始6年経過による維持管理費増加に伴うものである。

支出済額の主なものは、委託料 591,992 千円(構成比 39.6%)、需用費 261,977 千円(同 17.5%)、工事請負費 310,293 千円(同 20.8%)、人件費 148,114 千円(同 9.9%)、原材料費 164,604 千円(同 11.0%)である。

不用額 318,641 千円の主なものは、工事請負費 226,707 千円、需用費 29,427 千円、委託料 18,847 千円、原材料費 23,096 千円である。

第3款 公債費

(単位:円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
24	2,400,522,000	2,400,381,272	0	140,728	100.0
23	2,403,258,000	2,403,147,382	0	110,618	100.0
増減	△2,736,000	△2,766,110	0	30,110	

予算現額 2,400,522 千円に対し、支出済額は 2,400,381 千円(執行率 100.0%)となり、前年度に比べ 2,766 千円(0.1%)減少している。

支出済額の内訳は、元金 2,151,092 千円(構成比 89.6%)、利子 249,289 千円(同 10.4%)である。

組合債の前年度末未償還額は 17,179,600 千円で、当年度は 7,800 千円を借入れ、2,151,092 千円を償還した結果、当年度末未償還額は 15,036,307 千円となっている。

第4款 予備費

当初予算額 3,000 千円であるが、充用額はない。

2 財 産

(1)公有財産

ア 土 地

(単位: m²)

区分 年度	行政財産	普通財産	計
24	137,963.09	4,374.00	142,337.09
23	137,963.09	4,374.00	142,337.09
増減	0	0	0

前年度末と同様で増減はない。

イ 建 物

(単位: m²)

区分 年度	行政財産	普通財産	計
24	59,249.18	0	59,249.18
23	59,249.18	0	59,249.18
増減	0	0	0

前年度末と同様で増減はない。

(2)重要物品

決算年度末の現在高は、次表のとおりである。

(単位:台)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
机・卓子類	4	—	4
いす類	3	—	3
事務用機械器具類	8	—	8
計器類	10	—	10
電気器具類	1	—	1
機械類	41	—	41
工具類	12	—	12
車両類	13	△1	12
理化学実験器具類	2	—	2
標本模型類	2	—	2
雑具類	7	—	7
計	103	△1	102

取得価格 50 万円以上(昭和 58 年 3 月 31 日までに取得したものについては 30 万円以上)の重要物品の当年度末現在高は、軽自動車 が 1 台減少し 102 台である。